

森のおくりもの11月



イヌビエ（イネ科）

イラスト：井上伸子さん（青葉区）

いよいよ自然観察の森は、鮮やかな紅葉の時期を経て、冬へ向けた新たな装いへと変化しようとしております。短い森の晩秋ではありますが、ぜひ澄みきった青空のもと、移り行く季節をお楽しみください。お待ちしております。
(館長 菊池正行)

♪どんぐり大好き♪
「カケス」くん



森の中に「ジェーイ、ジェーイ」という鳴き声が響くようになりました。声の方を見るとカケスがどんぐりを隠しているところでした。今年はたくさんどんぐりが落ちているのでルン♪ルン♪でしょうね。あの鳴き声はもしかしたら鼻歌なのかも。

鳴きまねが得意

カケス

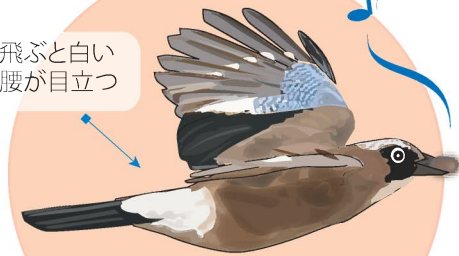


ここの翅のグラデーションがとてもきれい!

鳴きまねが得意な鳥で有名なのはモズですが、カケスもいろいろな鳴きまねをします。昨年の冬はオオタカの鳴きまねをしていました。真似をしている最後に「ジェーイ」や「ジャー」と鳴いてしまうので、カケスだとバレてしまいます。

のどに袋をもっていて、どんぐりを何個もつめこむことができる。最高12個の記録あり。

飛ぶと白い腰が目立つ



どんぐりをめぐって

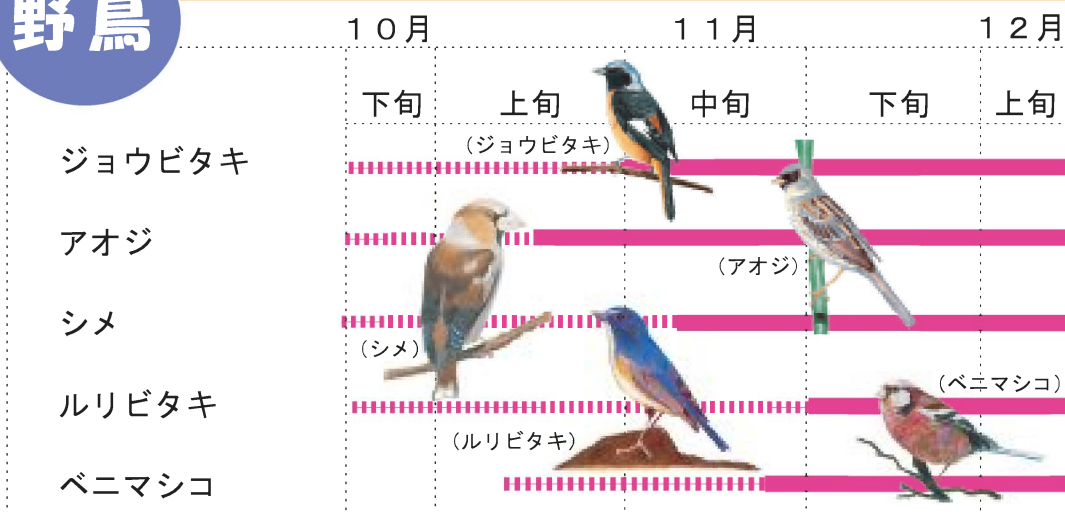
餌は雑食性で、昆虫、クモ類、果実などいろいろありますが、中でもどんぐりは大好物♪冬に備えて蓄える性質があり、3~7個ぐらいを飲み込み、一時的に喉の袋に入れて運びます。隠す場所が決まったら、土の中に埋めて、葉っぱをかぶせたりします。結構巧妙に隠しているのに、後日また出して他の場所に隠し直すこともあるというのですから、大した記憶力ですよ。埋めたどんぐりは冬の間の食べ物として利用します。が、雪が深くなるとカケスは埋めたどんぐりを食べることはできません。代わりに、雪の中トンネルを掘り自由に動き回れる野ネズミがどんぐりを見つけて食べてしまいます。また、リスが掘り出したどんぐりをカケスが横取りしようと狙うこともあります。どんぐりは大人気ですね。カケスやリスなどが忘れたどんぐりはどれくらいあるのでしょうか。来年の春、実生が出たら、それは、食べ忘れたどんぐりですよ、きっと。

【レンジャー：黒川 周子】

* マツなどに枝をかけるように巣をつくるので、カケスという名がついたといわれています。

11月の生物ごよみ

野鳥



10月に入りかなり涼しくなったためと適度な雨が降ったためか、昨年より遅れてですが、秋のキノコが出はじめました。クリフウセンタケ、サクラシメジ、ウラベニホテイシメジ、ナラタケなどなど。それに夏のキノコとされるチチタケやタマゴタケがまじるとい現象がおきました。そのためか10月20日におこなわれた『きのこ観察会』も大盛況で、たくさんの参加者があり30種類近くのキノコを観察することが出来ました。今回で2回目なのですが、継続してほしいという声も多く、来年も必ず開催したいと考えています。

それと森の木の实『ドングリ』も大豊作でした。2年間不作だったコナラや、クヌギのドングリなどたくさんのドングリが実り、森の動物たちも喜んでいてことでしょう。

今年はそんなたくさん実ったドングリを少しいただき、ドングリコーヒーを作ってみました。皆さんも是非試してみてくださいね！【レンジャー：齋 正宏】

ドングリコーヒーの作り方



材料 ドングリを適量（今回はクヌギのドングリを使用）

- ①拾ってきたドングリを水に浮かべ浮いてきたものは捨てる。
(虫が入っているため沈んだものだけを使用。)
- ②ドングリの皮をむく。(1日ぐらい、天日乾燥させるとむきやすくなる。)
- ③皮をむいたドングリを砕き1日ぐらい水にさらしアク抜きする。
- ④それをザルにあげて天日干しする。
- ⑤フライパンで弱火で15分から20分ほど乾煎りする。
- ⑥それをコーヒーミルなどで粉にする。
- ⑦出来たものをドリップしていただきます。



私はかなりファンになりました。味は飲んでからの楽しみ！！

※ センターを含め森の木の实は動物たちの大切な食料になります。常識の範囲で楽しみましょう。

レンジャー花 木もれび BLOG



略してコモブロ 第6回 『ドングリは誰のもの？』

森は今、一気に冬へ向かって準備を始めています。今年は昨年とちがってクリ、コナラ、クヌギの実が大豊作！ネイチャートレイルの上にもたくさん転がっています。

でも、どうしてドングリを見つけると、ついつい拾い集めてしまうのでしょうか？園内を巡回していると、ビニール袋を持った方々とたくさん出会います。みなさんクリやドングリ拾いに夢中。

でも、ちょっと待って。秋の実りを待っていたのは人間だけではありません。森に住む多くの生き物もクリやドングリを待っていました。

その代表はニホンリス、アカネズミなどの哺乳類、カケスなどの鳥類、それからコナラシギゾウムシなどの昆虫たちです。

ドングリ類にかぎらず、いろいろな色に熟した木の実も野鳥や野生動物が厳しい冬を越すための大切な食料になります。

これからも多くの生き物が暮らせる森にするには、人間がちょっとクリ拾いを遠慮する必要があります。

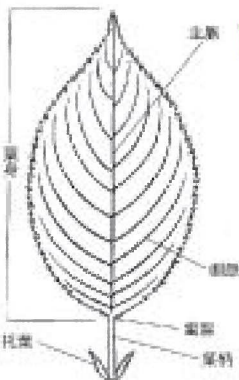
そんな理由で、太白山自然観察の森ではクリを含めたドングリ類や木の実、キノコの採集はご遠慮いただいています。みなさんの温かいご協力をお願いします。…でも子供たちがポケットに入るくらいの量を拾うのはOK！常識の範囲内で楽しんで下さい。



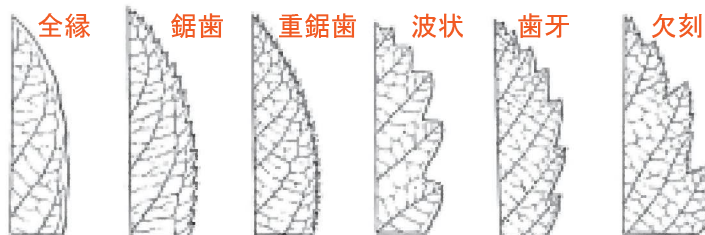
~~~~~

~~~~~

~~~~~



### 自然観察 基礎のきそ



あえて、図鑑の一番最初に載っていることを取り上げ、初心に帰るこのコーナー。今月は紅葉の季節なので『葉っぱのつくり』です。

【レンジャー：高橋 千尋】

## 昆虫たちの冬支度はちょっと早い



「ほら、こんなところにちょっと変わったものが。これは何でしょう？」と、みはらしの道の斜面でレンジャーさんが葉っぱを裏返すと・・・茶色の丸っこいブツブツが現れます。これは、カメムシの仲間「マルカメムシ」が越冬を前に集団になっているところ。



マルカメムシ

電柱を見上げれば、南側に上まで赤や黒の点々が。温まったコンクリートでテントウムシが日向ぼっこ。

毎年決まったように、11月になると現れる光景です。それらを見ると「ああ、今年もこの季節かあ。冬が来るんだなあ」としみじみ。

気温とともに体温が変化する昆虫の多くは、冬の気温では動けません。そのうえエサもロクロクないので、昆虫たちは森から姿を消します。死んでしまう種もいれば、樹皮の下、石の下、落ち葉の間に隠れて越冬する種もあります。どの形態で越冬するかも、いろいろです。これからの季節、この越冬探しが楽しみの一つです。

マイマイガは卵で越冬。例の茶色のフワフワカバー付き(?)卵。樹木に産卵されたのならいいのですが、オッチョコチョイの母マイマイガがマンションのベランダに産卵したり・・・これでは生まれてきた幼虫たちが何を食えばいいのか・・・



マイマイガの卵



オオムラサキの幼虫

オオムラサキは幼虫越冬。エノキから下りて、落ち葉の下で休眠します。落ち葉を一枚一枚めくりながら幼虫探しをするのは、カルタか神経衰弱かといったところ。

アゲハはサナギ越冬。比較的簡単に見られるので、ちょっと軽い存在になっているかもしれません。



越冬中のシータテハ

やはりチョウで話題になるのは成虫で越冬しているルリタテハやシータテハが見つかったときです。寒風の中、樹皮そっくりに擬態して越冬している姿を見ると、「寒さに負けるなよー。鳥に見つかるなよー」と応援してしまいます。

(小原英子・太白区)

# 11月のイベント



## 『ぴっぴ先生の小鳥の巣箱づくり』



写真はイメージです。

【日時】17日(土) 10:00～14:30

【内容】野鳥の話聞いたあと小鳥用の巣箱づくりをします。できあがった巣箱は持ち帰ってもかまいません。希望される方は自然観察の森の中に掛けていただきます。

【定員】10名(申込み多数の場合抽選)

【費用】500円(材料代)

【場所】自然観察センター

【申込み】メール、FAX、往復はがきに下記の必要事項を記入して申し込んで下さい。

(※11月10日(土)に締め切ります。)

①イベントタイトル②参加者全員の氏名、年齢③〒と住所④連絡先

※往復はがきの場合、返信先も記入して下さい。



### トピック「おなもみダーツ」

自然観察センターの新しい展示紹介  
ぜんぶレンジャーの手づくりです。  
遊びに来てね。

オナモミの実  
はひっつき虫として有名。  
的に当てて点数を競おう!



### 「さかな釣りゲーム」

センター横の笹川に住む生き物を釣り上げよう!  
10匹釣れたらプレゼントあり!



毎週日曜は

### 『ガイドウォーク』の日!

11月のテーマは「森と野鳥たち」です

4日、11日、18日、25日にやりますよ〜♪  
10:00～11:30 & 13:30～15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

●25日の午後は館長によるガイドウォーク「館長と森を歩こう」です。

### 11月の休館日

5日、12日、  
19日、26日



### 表紙の絵や原稿を募集しています。

里山や自然に関するものを描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼントがあるよ!!

### ♪森へおいでください♪



#### 宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」がカラーでご覧になれます。

「太白山 森のおくりもの」で検索。

「社のひろば」のURL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2012年11月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: [taihakusan\\_moushikomi@sendai-green-association.jp](mailto:taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp)

### 定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。